

家族防災会議のすすめ

災害から家族の命と財産を守るためには、家族全員が防災に真剣に向き合い、協力し合うことがとても大切です。

家族防災会議は、防災意識を高める効果的な方法の一つです。

皆さんのご家庭で家族防災会議を開き、実際に被災した場合などを具体的に想像しながら、防災対策についてぜひ話し合ってみてください。

【家族防災会議での確認ポイント】

①災害に関する知識や情報を確認

災害の種類によって備えることや気を付けることが違います。いざというときのために知識を身に付けましょう。

また、洪水・津波ハザードマップを見て、自宅だけではなく、家族の通勤先・通学先なども区域に入っていないかを確認しましょう。各家庭や個人で災害時に必要なものが異なります。それぞれのご家庭に合った備えをしておきましょう。

「留萌市防災ガイド・マップ」

市が全戸配布した「留萌市防災ガイド・マップ」では、防災に関する知識や洪水・津波ハザードマップなどを掲載しています。家族全員で知識や心得を共有し、いざという時に備えましょう。



▲留萌市防災ガイド・マップ

②家の中の危険箇所を確認

これまでに発生した大地震では、家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをした方が数多くいました。家具の固定をしっかりとしておくほか、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルなどを手の届く所に配置しておきましょう。

③災害時の連絡方法を確認

大規模な地震が発生した直後の被災地では、電話がつながりにくくなります。

災害時に家族や知人の安否確認を行う際は、電話会社が提供するサービスなどを活用しましょう。

「災害用伝言ダイヤル」の利用方法

- (1) 「171」に電話を掛ける
- (2) 電話のプッシュボタンを押す
(登録する場合「1」、再生する場合「2」)
- (3) 連絡先の電話番号を入力する
- (4) 伝言を録音（または再生）する